

福祉トピックス

税理士法人 長谷川会計
〒733-0822 広島市西区庚午中 2-11-1
TEL 082-272-5868
URL <http://www.hasegawakaikei.com/>

キャッシュ・フロー経営のすすめ ～短期的・中長期的改善ポイント～



前号ではキャッシュ・フロー経営の重要性をご紹介しました。今回は資金繰りを改善するポイントを、短期的・中長期的な面からご紹介いたします。

1. 短期的キャッシュ・フローの改善ポイント

① 売上債権を増加させない

未収金、受取手形などの売上債権の回収が遅れると、売上債権が増加し、キャッシュ・フローの流入スピードが遅くなります。なかでも介護給付費は請求月の翌月（サービスを提供してから2ヶ月後）に入金となります。

② 余剰の在庫を持たない

仕入発注、払出及び在庫管理を徹底し、適正量となるように改善を図ります。

③ 仕入債務は売上債権の入金期間に合わせる

介護給付費の入金は2ヶ月後なので、仕入債務である買掛金も仕入れ日から2ヶ月後となるように改善します。同じサイクルにすることでキャッシュ・フロー上整合性が取れることとなります。

2. 中長期的キャッシュ・フローの改善ポイント

① 日々の経営管理の徹底

例えば、「利用者負担金の未収を発生させない、在庫管理を徹底する」など、短期的改善ポイントを継続的に維持していくことが大切です。

② 目標当期純利益の確保

良質な介護サービスを提供し続けるには、新情報・新技術の導入が必至であり、そのためにも現金としての当期純利益が必要となります。

会社にとっての資金繰りは人間にとっての血液と同じです。資金が滞れば、即経営が行き詰まり倒産の危機に直面してしまいます。上記のポイント見直し、キャッシュ・フロー経営を実践することで健全な経営を目指しましょう。

